

平成 29 年 1 月 16 日

特定非営利活動法人にじのこ  
デイサービスにじのこ給田

### 放課後等ディサービスガイドライン自己評価表アンケート結果のお知らせ

日頃より、当法人の活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、先日ご協力頂きましたアンケートの集計結果をご報告致します。改善点も含め、支援の質の向上と支援内容の適正化を図るための努力をまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

#### 保護者等向け 放課後等ディサービス評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	7		広い庭があります。 身体（車椅子）の大きくなった子供が多いと狭く感じるように思います。 世田谷区は事業所の支援をもっとすべき。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	20	1		
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	15	4		事務所内、エレベーター等は車椅子の移動は狭く感じます。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等ディサービス計画 <sup>i</sup> が作成されているか	21			
	⑤	活動プログラム <sup>ii</sup> が固定化しないよう工夫されているか	21			色々なプログラムがあります。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	15	3	特に不安を感じないので現状で満足している。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	21			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	21			
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	20	1		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	11	10		

	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	19	1	
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	19	1	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	21		
	⑭	個人情報に十分注意しているか	20	1	学校よりもはるかにきちんとしていると思う。
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	20	1	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	20	1	
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	20	1	
	⑱	事業所の支援に満足しているか	20	1	方針は理解していますがやはり送迎サービスがあるほうが助かります。（特に肢体不自由児の場合） 色々活動を工夫してもらい子供も楽しみに参加していると思います。

\*利用者 34 名中 21 名提出（項目により無回答あり）

以上の結果をふまえ、職員内で今後の支援の改善が必要だと思われる項目について話し合いました。

チェック項目	対応できている（工夫している）点	改善点、その他
①子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	天気の良い日は広い庭で遊んだり、散歩にでかけたりしている。	給田は、活動場所を区から借りている。車いす使用の利用者は現状では少ないが、車いすに限らず体の大きい利用者が今後増えることに対して区にスペースの改善を求めている。
③事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか		法人事務所の拡充については、移転等の際に考慮していく。 庭へのスロープ等の要望は出しているが、スロープをつけることで庭が狭くなる等の課題もある。
⑥放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		月一回のお話し会（ボランティア）に近隣小学校の児童を誘う等、今後試していきたい。 春休み等の長期休暇の時に地域のプレーパーク等に出かけて行って交流を図る。

<p>⑩父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか</p>	<p>バザー委員会を設置し、保護者との交流の機会を設けている。</p>	<p>(その他) 保護者から保護者会を作ってほしいという要望は今のところでない。とりまとめが大変だということで他事業所から移ってきた保護者もいる。</p>
<p>⑪事業所の支援に満足しているか</p>	<p>介護事業と連携して送迎の部分を日常的に工夫している。</p>	<p>個別に要望を聞き取り、介護事業との連携につとめていく。さらに職員間でどのような工夫ができるのか検討していく。</p>

これらの結果をふまえて、今後改善すべきである支援の目標を送迎の部分に置き、「利用者がヘルパーとの関係を育みながら社会的な体験を積むことができる送迎の部分をもっと大事にしていく。」としました。ヘルパーの予約など使いづらさもあると思いますので、サービスを利用しやすいよう個別に提案していきたいと思っています。

デイサービスにじのこ給田